公開
資料３
（追加）

第４０７回幹事会
公開審議事項

令和８年９月１８日

日本学術会議

公　開　審　議　事　項

	件名・議案	提案者	資料（頁）	提案理由等（※シンポジウム等、後援関係については概要を記載）	説明者	根拠規定等
５．シンポジウム等						
追加	公開シンポジウム「フロンティア研究はいかにして生まれたのか？―柳町隆造博士の功績と動物生殖工学の未来ー」	食料科学委員会委員長	2	主催：日本学術会議食料科学委員会、食料科学委員会畜産学分科会 日時：令和9（2027）年５月30日（日）14：00 ～ 16：05 場所：やまぎん県民ホール　（山形県山形市）（ハイブリッド開催） **※第二部承認**	―	内規別表第1

追加

公開シンポジウム
「フロンティア研究はいかにして生まれたのか？
－柳町隆造博士の功績と動物生殖工学の未来－」
の開催について

１．主 催：日本学術会議食料科学委員会、食料科学委員会畜産学分科会

２．共 催：一般社団法人日本卵子学会

３．後 援： 未定

４．日 時：令和９（2027）年５月 30 日（日）14：00 ～ 16：05

５．場 所：やまぎん県民ホール （山形県山形市双葉町１丁目２－３８）
（ハイブリッド開催）

６．一般参加の可否：可
一般参加の参加費の有無：無

７．分科会等の開催：開催予定なし

８．開催趣旨：
1960 年、まだ日本から海外への留学が少なかった時代に、アメリカに渡り、哺乳類の受精現象の研究を始めたのが柳町隆造博士（2023 年に逝去）です。1963 年には、培養液中でハムスターの体外受精に成功し、その後ハワイ大学において、精子の受精能獲得や先体反応、卵子の透明帯反応など、受精現象の基本的な仕組みを次々と解明されました。さらに 1976 年には卵細胞に精子を顕微注入することで受精させる顕微授精（ICSI）を確立し、1995 年には Piezo-ICSI を確立するなど、生殖工学の発展に世界的な足跡を残されました。現在、体外受精や顕微授精は、産業動物や愛玩動物の生産、希少動物の保護、ヒト生殖補助医療に欠かすことのできない基盤技術となっています。これらの功績により 1996 年国際生物学賞、2023 年京都賞先端技術部門の受賞を始め、国内外で多くの賞を受賞されました。
近年、生殖工学はゲノム編集技術の進展とともに大きく発展し、体細胞から配偶子を作り出す研究や、人工胚モデル・胚着床モデルの開発など、生命の誕生や発生の仕組みを理解するための新しい研究が進められています。これらの研究は、生命現象の理解を深めるとともに、新たな医療基盤や生命科学への応用が期待されています。
本シンポジウムでは、柳町博士のもとで研究を積まれたフロントランナーの研究者が、生殖工学の最前線を分かりやすく紹介します。また、生殖工学の礎を築

かれた柳町博士のご功績を辿りながら、「生殖技術のイノベーションに繋がったフロンティア研究は、いかにして生まれたのか」について語って頂き、生殖工学が解き明かす生命科学の未来を皆様と共有する機会にしたいと思います。

９．次 第：

14:00　開会の挨拶
寺田　幸弘（日本学術会議連携会員／一般社団法人日本卵子学会理事長/
秋田大学大学院医学系研究科産婦人科学講座教授）

14:05　趣旨説明
木村　直子（日本学術会議第二部会員／山形大学大学院農学研究科教授／
岩手大学大学院連合農学研究科教授／日本畜産学アカデミー幹事）

座長：片桐　由起子（東邦大学医学部医学科教授）
山城　秀昭（新潟大学農学部教授）

14:15「From Yana to the Present: Expanding the Frontiers of Reproductive Engineering through Yana’s Scientific Philosophy」
Stefan Moisyadi (Associate Professor, Yanagimachi Institute for Biogenesis Research, John A. Burns School of Medicine, University of Hawai‘i at Mānoa)

14:45「生殖工学が明らかにした生命科学の進展」
小倉　淳郎（理化学研究所バイオリソース研究センター副センター長）

15:10「胚盤胞補完法による生殖細胞形成研究の最前線」
菅原　淳史（東北大学大学院農学研究科助教）

15:35「幹細胞研究が拓く再生医療の未来」
阿久津　英憲（国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所再生医療センターセンター長）

16:00　閉会の挨拶
粟田　浩（日本学術会議連携会員／小野薬品がん・免疫・神経研究財団理事長）

10．関係する部会の承認の有無：第二部承認

11．関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催委員会（分科会）委員）